



ソフトウェア・リリース・ノート

# Genelec Loudspeaker Manager GLM™

ソフトウェア・バージョン 5.2.0

GENELEC®

# ソフトウェア・リリース・ノート

## GLM 5.2.0 (Mac / Windows)

GLM ソフトウェアは、Genelec SAM モニター／サブウーファーのユーザーに、モニタリング・システムの優れた接続性／設定／制御を提供し、設置場所における不要な音響的影響を最小限に抑えることを可能とする強力なキャリブレーション・ツールです。GLM 5.2.0 は無償アップデートで提供され、新機能や重要なバグ・フィックス、ファームウェア・アップデートが含まれます。

このアップデートは、GLM 2、GLM 3、GLM 4、GLM 5 をお使いのすべてのユーザーに強くお勧めします。

本アップデートで提供されるすべての新機能とバグ・フィックスを利用するため、GLM ソフトウェアを最新版にアップデートし、GLM ソフトウェア内でアップデート可能なすべての機器に対しファームウェア・アップデートを行ってください。

### システム要件

	Windows 10 – 11 (64bit)	macOS 10.11 – 15.x Intel CPU	macOS 11.0 – 15.x Universal Binary Apple Silicon CPU
GLM アプリケーションと Cloud AutoCal 2 を 使用する場合	○	○	○
Local AutoCal を 使用する場合 **	○	○	×
ディスク・スペース	最低 2GB		
インターネット接続	GLM インストール時および GLM 使用中は、AutoCal/WoofersCal キャリブレーションのためにインターネット接続が必要です。 <ul style="list-style-type: none"><li>ソフトウェアのダウンロード *</li><li>GLM AutoCal によるキャリブレーションの実行 **</li><li>GLM WoofersCal によるキャリブレーションの実行</li><li>Genelec Room Acoustic Data Evaluation (GRADE) レポートの注文</li><li>My Genelec サービスへの製品の登録</li><li>マイクロホンのキャリブレーション・ファイルの自動取得</li><li>Local AutoCal パッケージ初回使用時のマイク・キャリブレーション・ファイルの自動取得</li><li>9320A および 8550A リファレンス・ヘッドホン使用時のヘッドホン・キャリブレーション・ファイルの取得</li></ul>		

\* ダウンロード・リンク：[my.genelec.com/](https://my.genelec.com/) (MyGenelec ユーザー・アカウントへの無料登録が必要です)

\*\* インターネットに接続されていない環境にて GLM を使用する場合は、ダウンロード・ページより別途「Local AutoCal (バージョン 1) パッケージ」をインストールしてご利用ください。

## GLM バージョン 5.2.0 の改善点

- Genelec パーソナル・リファレンス・モニタリング・システムのサポートが追加されました。Genelec PRM システムは、9320 リファレンス・コントローラーと、工場出荷時にキャリブレーションされた 8550 リファレンス・ヘッドホンで構成されています。
- 9320 のヘッドホン設定を、各 GLM グループプリセットごとに個別に設定できるようになりました。グループプリセットをアクティブにすると、そのヘッドホン設定が 9320 コントローラーに読み込まれます。
- ウェブベースの MyGenelec サービスとの統合。my.genelec.com の MyGenelec ポータルとの完全な統合
- 組織にリンクされたユーザーは、ログイン時に個人アカウント (Personal Account)、または組織アカウント (Organization Account) を選択できます。「個人アカウント」とは、My Genelec におけるプライベート・アカウントを指します。一方、組織アカウントでは、Genelec サービスへのアクセスは組織によって管理されます。
- Genelec UNIO の使いやすさと操作性を向上させ、スピーカーとヘッドホン双方の環境のモニタリングを柔軟に組み合わせられるよう、様々なアップデートを行いました。
- 新しい GRADE レポート・システムに対応しました。登録ユーザーは、12 件の GRADE レポートを無料でご利用いただけます。高度な GRADE 室内音響分析レポートは、GLM 5.2.0 以降で実施されたすべてのキャリブレーションにおいて利用可能です (以前は、最新のキャリブレーションのみ対象でした)。GRADE レポートはメールで送信されるほか、my.genelec.com の MyGenelec アカウントからもダウンロードできます。
- AutoCal、AutoPhase、または 9320 の設定を編集した後に、「設定がグループプリセットに保存されました」(Settings saved to the Group Preset) というダイアログが表示されるようになりました。GLM の各グループプリセットに設定が保存されたことが確認できます。さらに、選択したグループプリセットの設定をデバイスに永続的に保存し、GLM を使用せずに運用する方法についても説明するダイアログが表示されるようになりました。
- AutoCal または AutoPhase の実行中にデバイスが音声信号を受信すると、「音声信号が検出されました」(Audio signals detected) というダイアログが表示されます。これは、測定中にデジタルまたはアナログ音声が無断で高レベルで出力されるのを防ぐためのものです。
- 新たに「ファームウェア」が設定メニューに追加されました。これにより、ファームウェアの更新プロセスがよりシームレスになり、信頼性と操作性が向上しました。
- Aural ID アプリケーションとの統合機能が追加されました。これにより、Aural ID とのシームレスな連携を通じて、ヘッドホンを使用した柔軟なイマージブ・モニタリングが可能になります。
- 「Store to Loudspeakers」メニューの名前が「Store to Genelec Devices」に変更されました。
- GLM ウィンドウの最小サイズは 640 x 480 ピクセルに設定されています。
- Genelec サービスへのネットワーク通信が改善されました。
- リファレンス・レベルのキャリブレーションが改善され、ヘッドホンの出力レベルがスピーカー・モニターの出力レベルと主観的に同等になるよう調整されるようになりました。
- W371 ウーファーシステムと、それに関連する 83x1 モニターにグループソロ/ミュート機能が追加されました。これにより、グループ全体として一括でソロまたはミュート操作できるようになり、特に MIDI コントローラーを使用する際に便利です。
- LF 出力が過度に低く調整されないよう、8381 のキャリブレーション・グループにおける感度設定の問題を修正しました。
- サブウーファーのクロスオーバー設定可能な周波数範囲が拡張されました。

- GLM ネットワーク上に 7200 シリーズのサブウーファーが接続されていない場合、クロスオーバー周波数を 50Hz ~ 120Hz まで設定できるようになりました。
- 7200 シリーズのサブウーファーにおける AutoPhase の動作が改善されました。なお、この機能を使用するには、サブウーファーとモニター間のケーブル接続が必要です。
- 情報パネルが改良され、「常に表示」オプションが追加されました。これにより、大画面でのシステム・ステータスの視認性が向上しました。
- システムの起動と終了が改善されました。
- マイクのシリアル番号を GLM に保存する操作に関する不具合を修正しました。
- GLM と MIDI コントローラー間の通信に関する不具合を修正しました。
- コンピューターのスリープ解除時に、GLM が GLM アダプターや 9320 の起動よりも先に USB 通信を開始し、スピーカーがオフラインと誤って報告される問題を修正しました。

ここに記載されている以外にも、不具合修正や機能改善が含まれます。

## このバージョンの GLM に含まれるファームウェア・アップデート

### Genelec 9320A SAM™ リファレンス・コントローラー 1.5.2 ファームウェア アップデート

- 工場出荷時にキャリブレートされた Genelec 8550 リファレンス・ヘッドホンのサポート
- 9320A のメモリに設定を保存し、スタンドアロンで使用できるようにするコマンドを追加します。現在のグループに定義されている 9320 コントローラーの設定を 9320A 本体のメモリに保存するには、「グループプリセット」メニュー → 「Genelec デバイスに保存」を使用してください。
- 9320A コントローラーの入力と出力の感度が一致するようになりました。
- 9320A で正しいヘッドホン感度を設定すると、ヘッドホン出力レベルは自動的に計算されます。
- ノイズ暴露量値のリセットに関する不具合を修正しました。
- 電源オン / オフ機能の改善
- デフォルトの出力トリムを 0 dB に設定しました。
- ボリュームレベル設定の解像度を 0.5 dB に設定しました。
- [dB] と [dB SPL] のボリューム単位の表示に関する問題を修正しました。
- ディスプレイの描画に関する問題を修正しました。
- 大きな dB SPL 値を表示する際に起きていた問題を修正しました。
- 入力 / 出力の極性を一致させました。
- 起動時の初期化を改善しました。
- USB ストリームのサンプリングレートを変更した際の USB ストリーム処理を改善しました。
- USB オーディオ入力をデジタル出力にルーティングした際、USB ストリーミングの開始時（ストリーミングアプリケーションで新しい曲が再生されるときなど）にクリック音が発生する問題を修正しました。

## SAM モニター、サブウーファー、GLM アダプターのファームウェア・アップデート

SAM システムが最新バージョンに含まれているすべての機能に対応し、システムとキャリブレーションを最良の状態かつ最高のパフォーマンスで継続して機能させるためには、ファームウェアのアップデートが必要となります。アップデートされていない製品がシステムに含まれていると、ファームウェアのアップデートを促す注意が GLM ソフトウェアに表示されます。ファームウェアは常に最新バージョンにアップデートすることをおすすめします。以下の手順に従い、アップデートが可能であるかをご確認ください。

ファームウェア・アップデートは、GLM ソフトウェアの Info ウィンドウで利用できます。アップデートの確認と実行の手順は、システム・セットアップを以前実行したことがあるかによって異なります。

### ファームウェア・アップデート手順：システム・セットアップを少なくとも 1 回完了しており、現在そのシステム・セットアップがアクティブな場合

- GLM ソフトウェアのメイン画面でモニターまたはサブウーファーのアイコンを右クリックし、ポップアップ・メニューから「Info.」を選択します。
- 「Firmware Version」の情報欄にて、ファームウェアが最新か、アップデートが入手できるかを確認できます。アップデートが可能な場合は、「Firmware」ボタンを押してファームウェア・アップデート・ページを開きます（GLM ネットワーク・アダプターをアップデートする場合は、アップデート・ページは開かれず、すぐにアップデートが開始されます）。
- ファームウェア・アップデート・ページにてアップデートしたいモニターの「Update」チェックボックスを有効にし、「Update」ボタンを押すと、アップデートが開始されます。
- すべての機器のアップデートが完了するまでお待ちください。アップデートが完了するとシステムがオンラインに復帰します。

### ファームウェア・アップデート手順：初めて GLM を使用してセットアップを行うユーザーで、システムのセットアップが完了していない場合

- GLM ネットワーク・アダプターをコンピューターとモニター／サブウーファーに接続します。
- GLM ソフトウェアを起動し、システム・レイアウトを作成します。
- グループを定義します。
- セットアップを任意の名前で保存します。
- AutoCal および AutoPhase をスキップします（キャリブレーションを実行せずに「AutoCal をスキップ」、「AutoPhase をスキップ」ボタンを押してください。AutoPhase の画面は、システムレイアウトにサブウーファーが含まれている時のみ表示されます）。GLM のメイン画面が開きます。
- GLM ソフトウェアのメイン画面で各モニター、サブウーファー、ネットワーク・アダプター・アイコンを右クリックし、「Info.」を選択して情報ポップアップ・ウィンドウを開きます。
- 「Firmware Version」の情報欄に、利用可能なアップデートがあるか、または最新ファームウェアがすでにインストールされているかが表示されます。アップデートが可能な場合は、「Firmware」ボタンを押してファームウェア・アップデート・ページを開きます（GLM ネットワーク・アダプターをアップデートする場合は、アップデート・ページは開かれず、すぐにアップデートが開始されます）。

- ファームウェア・アップデートページにてアップデートしたいモニターの「Update」チェックボックスを有効にし、「Update」ボタンを押すと、アップデートが開始されます。
- すべての機器のアップデートが完了し、システムがオンラインに復帰するのを待ちます。
- メニューから「グループプリセット」>「キャリブレート」ボタンを押して表示される「グループのオーディオステイックキャリブレーション」画面でキャリブレーションを実行します。

## 長期的な互換性を提供

GLM 5 ソフトウェアは、2006 年以降に発売された Genelec SAM モニター / サブウーファーおよびウーファー・システムの全機種に対応します。Genelec が提案してきたアダプティブ・モニタリング・ソリューションは、極めて長期にわたる互換性を実現します。長い年月をかけて綿密に開発されたことで機能が優れているのはもちろんのこと、驚くほどの安全性や拡張性、そして将来性の高さも大きな特徴です。GLM 5 ソフトウェアに互換性のある SAM モニタリング機器のリストは、以下の通りです。

**SAM モニター:** 8240A、8250A、8260A、8320A、8330A、8340A、8350A、8331A、8341A、8351A、8351B、8361A、W371 ウーファー・システムおよび 8430A。

**SAM メイン・モニター:** 8381A、1032C、S360A、1237A、1238A、1238AC、1238CF、1238DF、1234A、1234AC、1235A、1236A。

**SE システム:** 8130A と SE7261A サブウーファー (SE システム) の組み合わせ。

**SAM サブウーファー:** SE7261A、7260A、7270A、7271A、7350A、7360A、7370A、7380A、7382A。

**その他の SAM 機器:** 9301A AES/EBU インターフェース、9301B AES/EBU インターフェース、8300-416 GLM キャリブレーション・セット、9401A AoIP (Audio-over-IP) ネットワーク・システム・マネージメント・デバイス、9320A SAM™ リファレンス・コントローラー。

## 詳細について

GLM ソフトウェアおよび GLM オペレーティング・マニュアルは、[my.genelec.com](https://my.genelec.com) からダウンロードできます。MyGenelec へのアクセスおよび各種ファイルのダウンロードには、無料のユーザー・アカウントの作成、および個人情報の送信が必要となります。アカウントを作成することで、お客様のご要望に沿ったサービスを提供可能になります。アカウント作成後 MyGenelec にログインし、「Software」タブから「GLM」にアクセスしてください。

GLM の詳細については、[www.genelec.jp/glm/](https://www.genelec.jp/glm/) をご参照ください。

ご不明な点がございましたら、お気軽に下記よりお問い合わせください。

株式会社ジェネレックジャパン カスタマー・サービス

[www.genelec.jp/customer-service/](https://www.genelec.jp/customer-service/)

**株式会社ジェネレックジャパン**

[www.genelec.jp](http://www.genelec.jp)

Genelec Document D0211R002-1. Copyright Genelec Oy & 株式会社ジェネレックジャパン 2025 年 6 月  
すべてのデータは予告なく変更する場合があります。

**GENELEC®**